

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	九州医療専門学校
設置者名	学校法人九州アカデミー学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	歯科衛生士科	夜・通信	86	9	
	歯科技工士本科	夜・通信	68	6	
	鍼灸師科	夜・通信	85	9	
	柔道整復師科	夜・通信	71	9	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学内閲覧（実務経験教員一覧：九州医療専門学校 古野校 事務室）
---------------------------------

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	九州医療専門学校
設置者名	学校法人九州アカデミー学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学内閲覧（理事名簿：九州医療専門学校 古野校 事務室）

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	歯科医院院長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	前佐賀県副部長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	九州医療専門学校
設置者名	学校法人九州アカデミー学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画の作成については、各学科内で学外実習施設等の意見を聞きながら検討の上、全体学科長会議にて討議、最終的に学園長校長等による運営会議にて決定を行う。</li> <li>・授業計画については、最終3月末に決定し、4月上旬にホームページにて公表。</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	学内閲覧(シラバス:九州医療専門学校 古野校 事務室)
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画に記載された評価の方法・基準のとおり、各授業科目の学習成果の評価を行い、単位の授与又は履修の認定を行う。試験は前期末及び後期末に行い、学生の学習状況を調べている。卒業試験については校長その他の教職員で構成する卒業判定委員会を経て、総合的に校長が決定する。</li> </ul>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業科目ごとの成績評価を100点満点で60点以上を合格とし、取得した成績の点数の平均を算出している。</li> <li>・成績評価については、各科目100点満点とし、80点以上をA、70～79点をB、60～69点をC、60点未満をDとする。C以上を合格とする。</li> </ul>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学内閲覧（成績評価：九州医療専門学校 古野校 事務室）</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ディプロマ・ポリシー</p> <p>本校の教育理念を理解し、本校の課程で必要な単位を取得したうえで、下記の能力を身につけた者を卒業判定会を経て卒業認定を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな教養や感性を身につけ、多様性を理解し、医療従事者として行動することができる。</li> <li>2. 生命の尊厳・権利を尊重し、医療従事者としての自覚と倫理観を備えている。</li> <li>3. 保健・医療・福祉のシステムの中で、コミュニケーションを図り、他職種と協働連携することができる。</li> <li>4. 専門的知識を用いて、対象に合わせた実践を行うことができる。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業試験については校長その他の教職員で構成する卒業判定委員会を経て、総合的に校長が決定する。</li> </ul>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学内閲覧（卒業認定：九州医療専門学校 古野校 事務室）</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	九州医療専門学校
設置者名	学校法人九州アカデミー学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学内閲覧（計算書類：九州医療専門学校 古野校 事務室）
収支計算書又は損益計算書	学内閲覧（計算書類：九州医療専門学校 古野校 事務室）
財産目録	学内閲覧（計算書類：九州医療専門学校 古野校 事務室）
事業報告書	学内閲覧（計算書類：九州医療専門学校 古野校 事務室）
監事による監査報告（書）	学内閲覧（計算書類：九州医療専門学校 古野校 事務室）

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	歯科衛生士科 (単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
3年		120 単位時間/単位	89 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位	31 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150人		141人	0人	5人	40人	45人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業計画の作成については、各学科内で学外実習施設等の意見を聞きながら検討の上、全体学科長会議にて討議、最終的に学園長校長等による運営会議にて決定を行い、それに沿って講義及び演習、実習・実技により授業を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） ・成績評価については、各科目 100 点満点とし、80 点以上を A、70～79 点を B、60～69 点を C、60 点未満を D とする。C 以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・授業計画に記載された評価の方法・基準のとおり、各授業科目の評価を行い、単位の授与又は履修の認定を行う。卒業試験については校長その他の教職員で構成する卒業判定委員会を経て、総合的に校長が決定する。

学修支援等 (概要) ・クラス担任制度により学生の状況を確認しながら、外部カウンセラーの相談の場を設けている。
---

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
43人 (100%)	0人 (0%)	42人 (97.7%)	1人 (2.3%)
(主な就職、業界等) 歯科医院			
(就職指導内容) 就職セミナーを開催し、就職支援・指導を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 歯科衛生士国家試験 43人全員合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
142人	4人	2.8%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金制度等の活用の案内		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	歯科技工士本科 (単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年		74 単位時間/単位	27 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位	47 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位
			74 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人		39 人	0 人	6 人	14 人	20 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) ・授業計画の作成については、各学科内で学外実習施設等の意見を聞きながら検討の上、全体学科長会議にて討議、最終的に学園長校長等による運営会議にて決定を行い、それに沿って講義及び演習、実習・実技により授業を行っている。	
成績評価の基準・方法	
(概要) ・成績評価については、各科目 100 点満点とし、80 点以上を A、70～79 点を B、60～69 点を C、60 点未満を D とする。C 以上を合格とする。	
卒業・進級の認定基準	
(概要) ・授業計画に記載された評価の方法・基準のとおり、各授業科目の評価を行い、単位の授与又は履修の認定を行う。卒業試験については校長その他の教職員で構成する卒業判定委員会を経て、総合的に校長が決定する。	
学修支援等	
(概要) ・クラス担任制度により学生の状況を確認しながら、外部カウンセラーの相談の場を設けている。	

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16 人 (100%)	13 人 ( 81.3%)	3 人 ( 18.7%)	0 人 ( 0%)
(主な就職、業界等) 歯科技工所			
(就職指導内容) 就職セミナーを開催し、就職支援・指導を行っている。			
(主な学修成果 (資格・検定等) ) 歯科技工士国家試験 16 人全員合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42 人	4 人	9.5%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金制度等の活用の案内		



分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	鍼灸師科（単位制）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	128 単位時間/単位	108 単位 時間/単位	0 単位時 間/単位	20 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位
			128 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人		71 人	0 人	5 人	6 人	11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業計画の作成については、各学科内で学外実習施設等の意見を聞きながら検討の上、全体学科長会議にて討議、最終的に学園長校長等による運営会議にて決定を行い、それに沿って講義及び演習、実習・実技により授業を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） ・成績評価については、各科目 100 点満点とし、80 点以上を A、70～79 点を B、60～69 点を C、60 点未満を D とする。C 以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・授業計画に記載された評価の方法・基準のとおり、各授業科目の評価を行い、単位の授与又は履修の認定を行う。卒業試験については校長その他の教職員で構成する卒業判定委員会を経て、総合的に校長が決定する。
学修支援等
（概要） ・クラス担任制度により学生の状況を確認しながら、外部カウンセラーの相談の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
25 人 (100%)	4 人 ( 16.0%)	21 人 ( 84.0%)	0 人 ( 0%)
（主な就職、業界等） 鍼灸院			
（就職指導内容） 就職セミナーを開催し、就職支援・指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） はり師・きゅう師国家試験 25 人全員合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
88 人	12 人	13.6%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金制度等の活用の案内		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	柔道整復師科 (単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
3年		103 単位時間/単位	82 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位	4 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位	17 単位時 間/単位
			103 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		81 人	0 人	5 人	18 人	23 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) ・授業計画の作成については、各学科内で学外実習施設等の意見を聞きながら検討の上、全体学科長会議にて討議、最終的に学園長校長等による運営会議にて決定を行い、それに沿って講義及び演習、実習・実技により授業を行っている。	
成績評価の基準・方法	
(概要) ・成績評価については、各科目 100 点満点とし、80 点以上を A、70～79 点を B、60～69 点を C、60 点未満を D とする。C 以上を合格とする。	
卒業・進級の認定基準	
(概要) ・授業計画に記載された評価の方法・基準のとおり、各授業科目の評価を行い、単位の授与又は履修の認定を行う。卒業試験については校長その他の教職員で構成する卒業判定委員会を経て、総合的に校長が決定する。	
学修支援等	
(概要) ・クラス担任制度により学生の状況を確認しながら、外部カウンセラーの相談の場を設けている。	

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
51 人 (100%)	5 人 ( 9.8%)	45 人 ( 88.2%)	1 人 ( 2.0%)
(主な就職、業界等) 整骨院			
(就職指導内容) 就職セミナーを開催し、就職支援・指導を行っている。			
(主な学修成果 (資格・検定等) ) 柔道整復師国家試験 40 人合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
128 人	15 人	11.7%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金制度等の活用の案内		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
歯科衛生士科	250,000 円	340,000 円	467,500 円	実習費・施設維持費他
歯科技工士本科	400,000 円	620,000 円	775,000 円	実習費・施設維持費他
鍼灸師科	400,000 円	800,000 円	515,000 円	実習費・施設維持費他
柔道整復師科	400,000 円	800,000 円	546,000 円	実習費・施設維持費他
歯科技工士専攻科	100,000 円	350,000 円	480,000 円	実習費・施設維持費他
鍼灸臨床研修科	100,000 円	350,000 円	480,000 円	実習費・施設維持費他
修学支援 (任意記載事項)				
指定校推薦制度・高校推薦制度・一般推薦制度・家族割引制度等				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学内閲覧 (自己評価・学校関係者評価表：九州医療専門学校 古野校 事務室)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 評価委員は企業等委員、役所関係者、卒業生、父兄、地域関係者等から3名以上5名以内で学校運営委員会にて選定し、その委員で構成される学校関係者評価委員会において自己評価の結果に基づいて行う学校評価の実施とその結果の公表・説明により、魅力ある専修学校を作り上げていく。(平成31年4月1日現在) 定員4名。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
佐賀県歯科医師会会長・医療法人健康栄会理事長	平成31年4月1日～令和4年3月末日	企業等委員
元佐賀県副部長	平成31年4月1日～令和4年3月末日	役所出身者・外部理事
上峰町議員	平成31年4月1日～令和4年3月末日	卒業生
病院看護部長	平成31年4月1日～令和4年3月末日	実習施設
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学内閲覧 (自己評価・学校関係者評価表：九州医療専門学校 古野校 事務室) 2020からはホームページに掲載 <a href="https://www.kac.ac.jp">https://www.kac.ac.jp</a> 2020年度から評価を確実に実施・公表する。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページに掲載 <a href="https://www.kac.ac.jp">https://www.kac.ac.jp</a>
--